

# 小学校 5年 国語科

考える  
想像する

読む  
書く

育成したい  
国語力

疑問に思うことの根拠や内容に気付き、その内容を探りながら、文章全体を読み取る。文章表現や資料から読み取った書き手の意図を元に、内容の展開を予測しながら読む。疑問に思うことの根拠や内容をわかりやすく書く。

## 単元名

### いろいろな環境問題について考えよう 「森林のおくりもの」

## 単元の流れ

### 第1次(本時)

・教材文を読んで森林や環境の問題に関心をもち、学習計画を立てる。

### 第2次

・題名の工夫や述べ方の工夫に気付き、書かれている内容や筆者の考えを読み取る。

### 第3次

・自分の課題について資料を集め、「ブックガイド」を書く。

### 第4次

・ブックガイドを読み合い、成果を分かち合う。

## 本時の目標

文章を読んで感想をもち、学習の見通しをもつ。  
(国語への関心・意欲・態度)

## 本時の流れ

### 導入

本時のめあてを知る。

めあて：写真や文章から、学習の見通しをもとう

### 展開

「ヨーロッパの古い町」と「日本の古い町」の2枚の写真から、見つけたものを書き出し、比べて気付いたことを話し合う。

- ・「ヨーロッパの古い町」...家が石でできている。  
...道にも石が使われている。  
...山がなくて、広い。
- ・「日本の古い町」...家が木でつくられている。  
...山が家のすぐ後ろにある。  
...山には木が多い。

題名を読み、「森林のおくりもの」とはどのような贈り物か、だれからの贈り物が予想する。

本文を読んで、「初めて知ったこと」(!)「知ってはいしたが、改めて考えさせられたこと」(\*)「もっと詳しく知りたいと思ったこと」( )に印を付けながら読む。

### まとめ

もっと詳しく知りたいことを書き出し、交流する。

## 国語力育成の視点

本教材には、比較して読み取ることのできる二枚の写真が掲載されています。本時では、この写真や題名から教材へのイメージを広げ、考えたり想像したりする力を育成します。また、初読後には、「初めて知ったこと」「知ってはいしたが、改めて考えさせられたこと」「もっと詳しく知りたいと思ったこと」についての感想を書き、第2～3次への見通しをもつことが大切です。

### 視点②

説明する力を付けるためには、普段の授業の中で自分の意見をまとめる機会をもつことが大切です。その際、ただ書かせるのではなく、学年の始めの段階においては、型に沿って書き進めることも大切です。論理的に書く指導を系統的に進め、考える力を育成します。

### 視点①

写真や題名から教材についてのイメージを広げていくことは大切です。

教科書のヨーロッパの古い町と日本の古い町の写真から、環境への興味や関心を広げたり、題名にかかわる情報を読み取ったりします。

題名とのかかわりについては、自分なりの予想を立てて書いてみるのが大切です。

## 教材等の例

「森林のおくりもの」を読んで

「森林のおくりもの」

題名を考えよう

一枚の写真から気づいたこと  
「ヨーロッパの古い町」  
「日本の古い町」

「ばくばくは、「森林のおくりもの」には、  
「や」があると書いていました。しかし、  
この話を読んで、「や」があると「いつか」  
を知りました。

二 知った事実について、自分の経験と結び付けて、事例を書く。

三 考えさせられたこと、更に知りたいことを書く。